

2022 年 第 73 回学術大会（名古屋大会）

一般口演の演題募集要項

■■ 応募資格

- 1) 筆頭演者は日本良導絡自律神経学会の正会員、海外会員、準会員に限る（なお、筆頭演者は1人1題とする）。なお、学会または主催者からの依頼による場合は例外とする。
- 2) 共同発表者は正会員、海外会員、準会員、学生会員および単年度会員（その年度の発表にのみ限定、登録費用1回5,000円とする）。
- 3) 外国語での発表は基本的に原語で行う。日本語の翻訳発表を行う場合は翻訳責任者が行い、抄録、スライド、発表原稿の総てにおいて筆頭演者と同等の責任を有する。
- 4) 全会員・医師・研究者・学生の方々の発表をお待ちしています。
応募方法、発表テーマ、抄録、発表パワーポイントのまとめ方等、ご意見、ご質問は各支部学術部長にお問い合わせください。

■■ 応募内容

良導絡に関係する基礎研究・臨床研究・調査・教育などであること。

なお、個人情報の保護、倫理面での配慮、利益相反などに関する事項には十分に注意を払うこと。

■■ 一般口演演題募集12題予定

■■ 応募期間

1) 演題

2022年7月15日(金)～2022年7月31日(日)(必着)

2) 抄録原稿

2022年7月15日(金)～2022年8月15日(月)(必着)

3) 査読に関して

原則として抄録、発表原稿も査読を行い、訂正が必要な場合はメールでご連絡致します。

なお、査読内容に関しては論文査読規定に準じます。

4) 発表スライド(パワーポイント)提出期限

2022年7月15日(金)～2022年9月30日(金)(必着)

■ 応募先

演題・抄録・スライド(パワーポイント)の提出は、抄録提出用メールアドレス congress@jsrm.gr.jp にメールでお送り下さい。

インターネットメールでの提出が難しい場合、投稿及び投稿に関するご質問は下記学術部 迄ご相談下さい。

〒 512-0923 三重県四日市市高角町831-2

電話: 059-326-0951 携帯:080-3616-7725 中部支部学術部長 仲家栄一

■ 応募方法

下記の抄録原稿作成上の注意事項スライド発表形式に従って、インターネットにて応募して下さい。文字化けの可能性があるので必ずご自身でチェックした後に、打ち出した原稿も送付して下さい。

■ スライド発表形式

マイクロソフトのパワーポイント10枚以内(基本的に動画は不可)

マイクロソフトパワーポイントのバージョン2003以前は不可

大会学術委員会で事前に試写する為に提出期限を設定しています。

提出期限:2022 年7月15日(金)~2022 年9月30日(金)(必着)

■ 演題の採否

演題の採否は大会会長が決定し事務局より発表日時をご連絡致します。

抄録の著作権は、日本良導絡自律神経学会雑誌の投稿規定に準じて学会に委譲していただきます。

■ 発表当日のお願い

原則として口演時間は発表が8分、質疑応答は5分です。発表は時間厳守でお願い致します。(発表終了前1分 : ベル1回 発表終了時 : ベル2回、質疑応答終了1分前 : ベル1回、質疑応答終了時: ベル3回)

なお、一般口演の抄録作成上の注意事項は次をご参照ください。

一般口演抄録作成上の注意事項

原則として、例年通りの編集形式を踏襲します。下記の抄録例を参考にして下さい。
査読後の抄録は必要に応じてフォント、大きさ、行数などは変更する場合がありますが、原則として、本文はそのまま抄録集として本学会のホームページで公開し、学術部が作成する抄録集は学術大会の開催地において参加者に当日配布します。

[抄録原稿形式]

1) 演題・所属・氏名・[目的][方法][結果][考察][結語]・キーワード5つ以内・を記載して下さい。

ただし、症例報告では[方法]を[症例]として下さい。

2) 現代かなづかいで横書きとし、MS 明朝、10.5 全角で、数字や記号は半角で、専門用語以外は常用漢字新かなづかいの楷書で書き、欧文はCentury, 10.5 半角で活字体として、文字数は600 字から800 字以内に収めて下さい。

良導点および良導絡については良導絡表記を優先し、経絡名や経穴名は補足の形として下さい。

例:H64(合谷)、H6(大腸良導絡)

欧文も同様で、経穴名や経絡名はWHO 表記を補足の形として下さい。

例:H64(LI4)、H6(LI)

3) 第1 項はタイトルおよびサブタイトルとし、なるべく短くして下さい。

次に所属機関(正式名称)、所属支部名と筆頭演者、共同発表者を記入して下さい。

なお、発表者が複数の場合で所属が異なる場合は番号を付記して下さい。

また、発表者が複数の場合は筆頭演者の前に○印を付記して下さい。

例:良導絡で改善した一例

— ○○症候群—

××大学医学部生理学教室1)△△病院麻酔科2)

○×支部○中谷太郎1)2)良導絡二郎2)

4) キーワードは抄録内容を正確に代表するもので、なるべく短い用語を使用し、類似した用語の並列は避けて3～5 字以内にして下さい。

以上、メールアドレスcongress@jsrm.gr.jp 宛にお送りください。